

局 施 策 評 価 票

平成 **21** 年度実施施策

A時点: -	B時点: -	C時点: 22. 7月

局名	企画文化局
----	-------

基本計画	柱	いきいきと働く
	大項目	にぎわいづくりの推進
	取組みの方針	ビジターズ・インダストリーの振興

担当局 / 総務担当課名	企画文化局	企画課
連絡先	582 - 2153	

21年度計画

-4-(3)-

施策名	集客ビジネスの振興
-----	-----------

施策の概要	何(誰)をどのような状態にしたいのか。	交流人口を増やし、まちのにぎわいづくりをもたらすことで、小売、飲食、宿泊、サービス、交通など、関連する産業の振興を図っていきます。
	その結果、実現を目指す取組みの方針名	ビジターズ・インダストリーの振興

施策の成果	成果指標 (上段:指標名、下段:指標設定の考え方)		現状値		平成21年度	目標値	
	年度	平成20年度	計画	実績		年度	平成25年度
集客ビジネスモデル認定件数(累計)	年度	平成20年度	計画	実績	3 事業	年度	平成25年度
	現状値	0事業			7 事業	目標値	19事業
				達成度	233.3 %		
	年度		計画			年度	
	現状値					目標値	
				達成度	%		
コスト	年度		計画			年度	
	現状値					目標値	
				達成度	%		
	年度		計画			年度	
	現状値					目標値	
				達成度	%		
コスト	A時点 - B時点 - C時点 22.7月 [21年度:執行額]		事業費		19,787 千円	構成事業にかかった人件費の目安(21年度)	
			うち一般財源		19,787 千円	2,625 千円	

局施策に対する担当局の評価

局施策の評価	21年度評価	主な分析理由
成果指標の結果を踏まえ、構成事業の評価結果なども考慮し評価を行う。	A	北九州市に多くの方が訪れたいというオリジナリティのあるビジネスモデルを募集し、多くの応募の中から厳選し市のにぎわいに寄与できたことは、ビジターズ・インダストリー振興のひとつのモデルとなります。民間活力を活用することからも、コストパフォーマンスの面で優れており、施策として非常に有効性が高いと考えられます。
今後の局施策の方向性		募集したビジネスモデルを一過性のものでせず、いかに発展させてさらなるにぎわいづくりに繋げていけるかを考える必要があります。そのためにはPR方法など市内部で連携して施策を実行していく必要があります。またアイデアを募集し実施に至るまでスピード感をもって実行し、新たなビジネスチャンスを生み出せるよう、今後も積極的に支援していきけるよう努めていきます。

[局施策評価] A:大変良い状況にある B:概ね良い状況にある C:概ね良い状況とまでは言えない D:不十分な状況にある

評価担当部署の意見

適切な評価 下記のとおり

目標値の考え方を示すことが必要と考えます。
また、新たになぎわいを創出するための着実な取組みが行われていると思います。施策の成果指標については、上記の指標のほかにも、交流人口の増加数やそれに伴う関連産業の振興を示す具体的な指標の設定を検討すべきであると考えます。

事業評価票

平成21年度実施事業	新規	継続

A時点: -	B時点: -	C時点: 22.7月

担当局/課	企画文化局	シティプロモーション部
連絡先	582-3636	

基本計画	柱	いきいきと働く
	大項目	にぎわいづくりの推進
	取組みの方針	ビジターズ・インダストリーの振興
	主要施策	集客ビジネスの振興

関連計画	
事業期間	
経費区分	裁量経費

-4-(3)-

事業名	にぎわいづくり推進事業
-----	-------------

事業の概要	何(誰)をどのような状態にしたいのか。	北九州市に多くの人々が訪れたいような民間主体のオリジナリティーあるビジネスやイベントを支援することにより、多くの人々に本市を訪れていただき、滞在していただくことで、まちのにぎわいを生み出し、併せて来訪者の消費活動の活性化と関連産業の雇用機会の増大といった、地域経済全体が活性化することを目的としています。		
	その結果、実現を目指す施策名と成果	施策名	集客ビジネスの振興	成果

目的実現の為に実施する内容	実施工程	当初計画	平成21年度 集客ビジネスモデル認定事業数 3事業	平成22年度 6事業	平成23年度 9事業	平成24年度 12事業	平成25年度 15事業	計画変更理由 平成21年度に認定事業が当初計画の認定件数を超えてしまったため、前倒しで認定事業件数を増やしていきます。			
		現状	集客ビジネスモデル認定事業数 7事業	10事業	13事業	16事業	19事業				
	実施状況	成果・活動指標 (上段:指標名、下段:指標設定の考え方)						平成21年度	目標		
		集客ビジネスモデル認定事業件数(累計)						計画	3事業	年度	平成25年度
		北九州市に新たなにぎわいを創出するためには、民間が主体となって取り組むことが必要と考えます。そのため、一般公募により民間主体の集客力のあるビジネスを募集します。厳正な審査の結果認定されたビジネスが、助成金の交付や広報PR支援、北九州市にぎわいづくり懇話会(北九州市への来訪者を増やし、にぎわいを創出することを目的に、ビジターズ・インダストリーを市民主導で推進するための機関)などのネットワークの拡大によって、効果的・効率的に北九州市の新たな集客を生むビジネスやイベントに発展するようにします。						実績	7事業	内容	19事業
								達成度	233.3%	年度	
コスト	A時点 - B時点 - C時点 22.7月[21年度:執行額]						事業費	19,787千円	事業にかかった人件費の目安(21年度)		
							うち一般財源	19,787千円	2,625千円		
単年度計画											

【事業の実施結果・進捗状況の確認】

実施結果	21年度に実施した結果、当初計画(実施工程)に対する進捗状況はどうか。	<p>昨年度、1ヶ月間一般公募による集客ビジネスモデルとなる事業を募集したところ、24団体の申し込みがありました。その24団体のうち厳正なる審査の結果、7団体を認定し、助成金の交付や広報PRの支援を行いました。認定事業のなかでも、北九州・平尾台トレイルランニングレースでは、HPなどによるプロモーションにより、約75%(365名)の市外からの参加がありました。</p> <p>(事業名:北九州・平尾台トレイルランニングレース 助成金額:30万円 事業名:市民一箱古本市(とほほん市) 助成金額:20万円 事業名:第11回手づくり市場in北九州 助成金額:20万円 事業名:おさかなロードPR事業 助成金額:20万円 事業名:門司港モーニングPR事業 来てっちゃん!北九州~紙芝居de北九州PR いつでも楽しめる「合馬のたけのこ」土産化事業 ~までは、助成金・PR支援。 ~までは、PR支援のみ)</p> <p>また、神戸 北九州間の阪急フェリー船内で、北九州PRクイズ大会などを行うことで、乗船客に対し、大いに北九州市の名物や特産品をPRすることができました。</p>
------	-------------------------------------	--

【事業の再検証】

評価	有効性 この事業は施策の実現に対し、効果があったのか。	4	北九州市のにぎわいをもたらす意欲的な事業主体に対し、助成金の交付、PR支援、北九州市にぎわいづくり懇話会を活用したネットワークづくりの支援を行いました。民間主体の事業に対し、そのような支援を行うことで、効率的・効果的な事業を行うことができ、集客力の向上につながったと思います。また、一般公募を行うことにより、新たな北九州市全体の人材資源、観光資源の再発掘にもつながったと思います。
	経済性/効率性 同じ効果をより低いコストで得られないか、または、同じコストでより高い効果を得られないか。	4	北九州市のにぎわいにつながる事業を市が直接行うものではなく、可能性のある事業に対し、市が下支えとして支援している形式で事業を行っているものであり、コスト的には抑えられていると考えます。
	適時性 今実施しなかった場合、施策実現に対する影響はどうか。	3	民間が主体となり優れた資源や財産を活用したビジネスを発見し支援することで、市内外からの集客を増やすことは大変有効であり、そのためには早い時期から着実な働きかけを行っていく必要があります。
	市の関与の必要性 実施主体として市が適切なものか、市の関与をなくすることはできないのか。	4	北九州市集客交流計画の基本方針の一つでもある「市民が主役であり、行政は下支えを行う」という考えから、市の関与は適切であると考えます。
今後の方向性	評価結果を検証した上で、今後の事業の方向性(いつから何をどうするのか)を決定する。	ア	<p>他都市等先進都市での事例や、これまでの認定事業者からの意見を参考にしながら、より効率的な方法で実施していきたいと思えます。</p> <p>具体的には、平成22年度の改善策として、より質の高いビジネスモデルを募集するために、1件あたりの助成金の上限額を、30万円から50万円に改定</p> <p>・審査をより厳格にするための審査項目の見直しを行います。</p>